

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート		部	区民部	課	区民課	
施設名称	〔1〕 東京都台東区立浅草公会堂					
指定管理者の名称	明治座・野村ビルマネグループ	指定期間	H21.4.1 ~ H26.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	(株)明治座： 演劇興行 飲料ケータリング事業 不動産賃貸・管理事業 ほか 野村ビルマネジメント(株)： ビルマネジメント事業 建築インテリア事業 プロパティマネジメント事業 公施設事業 不動産取引事業 ほか					
(2)類似施設の管理実績	(株)明治座： 明治座ほか 野村ビルマネジメント(株)： 中野区文化施設3館 国分寺市立いずみホール他					
(3)経営状況	23年度決算(明治座は22年9月1日~23年8月31日) (株)明治座： 総収入7,643,916千円、総支出7,464,057千円 野村ビルマネジメント(株)： 総収入41,388,050千円、総支出34,548,132千円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区浅草1-38-6					
(2)設置目的	区民の福祉を増進し、文化の向上を図る					
(3)利用者	区民をはじめとした多くの方々					
(4)開館日・時間	臨時休館日を除く全日 9時から21時まで					
(5)規模	延床面積 12,185.63㎡ SRC造 一部RC造 地上5階地下2階 塔屋2階 ホール(1,082席) 第1・第2・第3集会室(各105.8㎡) 展示ホール(173㎡)					
(6)人員体制	常勤19名、その他(パート)7名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	(1)公会堂の施設、付帯設備及び物品の保全並びに調整に関する事 (2)公会堂の場内整理に関する事 (3)公会堂内の清潔、整頓その他環境の整備に関する事 等					
(2)自主事業	(1)明治座アカデミー卒業公演(11月実施) (2)殺陣基本体験レッスン(4月・11月実施) (3)殺陣体験レッスンスペシャル(3月実施。3日連続のスペシャル版)					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	182,537,000	183,851,000	99,000,000	99,000,000	99,000,000
	料金収入等	0	0	129,900,000	129,900,000	129,900,000
	管理経費	182,537,000	183,851,000	228,900,000	228,900,000	228,900,000
決算	委託料	171,113,699	167,528,377	99,000,000	99,000,000	99,000,000
	料金収入等	0	0	136,336,635	131,759,303	138,136,737
	管理経費	171,113,699	167,528,377	231,568,794	228,557,661	236,543,451
	収支	0	0	3,767,841	2,201,642	593,286
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	
開館日数	日	324	361	358	361	
ホール利用日数	日	278	283	271	279	
ホール利用可能日数	日	318	319	332	326	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(25年度)	21年度	22年度	23年度	
ホール利用率(利用日数/利用可能日数)	%	90.0	88.7	81.6	85.6	
集会室利用率(利用単位/貸出可能単位)	%	45.0	42.6	42.9	45.5	

平成20年度以前は、他の指定管理者による管理運営

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み					
<p>災害時の行動基準となる防災マニュアルの改訂を行い、そのマニュアルに基づいた自主訓練を実施した。訓練終了後には検証を行い、次の訓練に取り入れる等、災害時の対応力向上を図った。指定管理者が作成したホームページにより空き状況が見られるようにするなど、情報提供に取り組んだ。区の事業である「したまち映画祭」の中で自主事業の「殺陣」を実施するなど、区の事業との連携を図った。自主事業として夏休みに子供体験教室として「舞台の裏側体験ツアー」を実施した。</p>					
<p>8. 評価項目</p> <p>3: 協定等の水準を上回っている。 0: 協定等の水準を下回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 -: 評価対象外項目。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。</p>					
評価の観点	評価項目				
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [2] [2] [2] [2]	
(2)施設の維持管理 平均 [2.1]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [3]	
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]	
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)経費縮減のための取組み	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]	
<p>9. 評価</p> <p>S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。</p>					
評価の観点	評価	説明			
(1)事業の運営	A	ホール等の予約のない日に保守点検や修繕等を可能な限りまとめて実施し、臨時休館日を極力減らし運営を行っている。また、保守点検日でも可能な限り利用者の要望に応じ、臨機応変に貸出を行った。			
(2)施設の維持管理	A	設備や備品については、何度もチェックし安全に保っている。震災対策として新たに什器類の転倒防止措置を行った。省エネ対策としては、貸出に影響のない執務スペースやバックヤードの照明・空調をオフにする等の対応を行った。			
(3)利用者の満足度	A	指定管理者独自のホームページを開設し、予約状況の確認、座席表等のダウンロードも可能となった。利用者からも好評を得ている。また、利用者によるアンケートにおいては、スタッフの対応が良いとの評価を得ている。			
(4)歳入歳出	A	23年4月は震災の影響で利用が大きく落ち込んだが、その後順調に回復し利用料金収入は前年を上回った。支出については、引き続き節電、節水等で光熱水費を減らし、抑制に努めている。			
<p>10. 総合評価</p> <p>良好 妥当 要努力 要改善 不適</p>					
		妥当	独自のホームページを開設し、予約状況の確認ができるようにするなど利便性の向上に努めている。また事業運営、維持管理とも業務基準に基づき適切に運営されており、利用率も引き続き高い水準を維持している。		
<p>11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応</p> <p>これまでと同様に、適切な事業運営、維持管理を行っていく。 集会室・展示ホールの利用においては、民間企業ならではの新たな発想、工夫により、利用率の向上を図る。</p>					